

# 公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2015年5月10日（日）13:00 - 16:00

場 所：八重洲ホール 612号室

出席理事：櫻井、奥村、山田、中村、本原、熊谷、松尾、茂山、青木、宮田、山岡、滝沢、林田（以上13名）

出席監事：尾中、郷田（以上2名）

欠席理事：石丸（以上1名）

さらに、次期理事予定者である望月、半田、山下、柴田、佐藤が出席した。

また、西野事務長、黒岩事務員が出席した。

## I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が13名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆、奥村幸子、山田亨、尾中敬、郷田直輝

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2015年3月18日）の理事会議事録が報告・確認された。

## II. 報告

II-1 移籍・退会報告（資料3、中村）

2015年3月3日より2015年5月1日までの間の移籍・退会者数が報告された。

正会員入会23名、準会員入会10名、準会員から正会員への移籍会員数は4名、正会員から準会員への移籍は16名、正会員退会73名、準会員退会46名、賛助会員退会2名。会費未納による会員資格喪失者は正会員15名、準会員18名であった。

II-2 監査報告（資料4、尾中）

2015年4月27日に2014年度監査を三鷹で行った。郷田、尾中、松尾、熊谷、本原、西野事務長、亀井会計士が出席した。2014年度事業報告書および2014年度決算報告書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして正当であることが認められた。

II-3 事業担当理事の近況

1. 年会（宮田）

春の年会が無事終了した。口頭講演465件、ポスター講演212件、参加者総数989名であった。その際、新規実行委員会への引継ぎ打ち合わせを行っ

た。新体制ですでに秋の年会の準備を進めている。

2. 月報（青木）

編集作業を継続している。特集が決まった。8月からデータベース天文学、東アジア天文台、すぎく、大学間連携、SEEDS と来年まで詰まっている。

3. 庶務（中村）

2014年度事業報告が完成した。2017年秋、2018年春の年会開催地の公募が終了し、選定を進めた。西野事務長から退職希望があり、4月中旬に新事務長の募集をハローワークで行った。応募総数39名（内、女性12名）。4月29日に櫻井、中村、本原、市川で書類選考を行って候補者7名（予備3名）を選出し、その面接を櫻井、中村、本原、望月、山下で5月9日に三鷹で行った。一名を選出し、内定を出した。

4. 会計（熊谷）

決算が完了した。研究奨励賞などの寄付金募集を、会員全体集会や tennet で呼びかけ、また月報5月号に掲載した。

5. 天文教育（山岡）

ジュニアセッションが年会4日目にあった。86講演、初めてパラレルセッションで行った。大きな問題なく終了した。次回は3月14日～17日の平日開催であるので、どのように対応するかを検討中。

次回天文教育シンポジウムは男女参画、キャリア支援委員会と合同で、キャリアに関する内容で行う予定である。

大学教育の質保障のための教育課程の参照基準の策定を行っている。秋にまとめることを目標としているが、それに向けたフォーラムを7月に東京大学本郷キャンパスで開催する。物理学委員会から要請があった現状報告を近く行なう。

6. PASJ（茂山）

67号2号がOUPに移行したあとで初めて予定通り刊行できた。すばる特集号の論文が集まってきた。すぎく、MAXIの特集号、SKAのレビュー論文も予定されている。時期委員会との引継ぎ打ち合わせをOUP担当者とともに行った。投稿の手引きの刷新のための打ち合わせを4月に行った。

#### II-4 事務所報告

事務長が退職の意向。

#### II-5 引継ぎ報告（櫻井）

現理事会と次期理事会の引継ぎ内容の報告がなされた。

#### II-6 その他

佐藤明達氏より多額の寄付をいただいた。

### III. 議題

#### III-1 2014年度事業報告書の承認（中村、資料6）

事業報告書の説明の後、承認された。

#### III-2 2014年度決算書の承認（熊谷、資料7）

決算書の説明がなされた。OUPへのPASJ発行委託の結果、直接印刷費は900万円低下し、購読料収益も向上したため、科研費補助がなくなったにもかかわらず収益は改善している。発送費は予想よりも大きくなってしまったが、これに関しても印刷版を希望者にのみ発送するようにする予定であり、来年度以降の改善が見込まれる。学術交流費については支出額が予算に比べて少なく、550万円ほど積み上がっている。内地留学事業については残額が残り5年分、研究奨励賞事業については残り3年分で、会員への寄付のお願いをしているが、反応は鈍い。これに対し、会費から充当することはできないのか、という意見があり、次期理事会の検討事項とした。決算は最終的に690万円の黒字となった。以上の議論の結果、承認された。

#### III-3 学術用語集・天文学編のオンライン版の移行の承認（中村、資料8）

NIIが運用しているオンライン学術用語集をJSTのもつ同様のサービスと統合してよいかという問い合わせが来ている。これまでの経緯を説明されたのち、承認された。

#### III-4 名古屋大学太陽地球環境研究所の共同利用・共同研究拠点認定へのサポートレターについて（櫻井、資料9）

名古屋大学STE研が他2機関と統合して共同利用・共同研究拠点（仮称：宇宙地球環境研究所）としての認定に、コミュニティからの要望書を出すことを承認した。

#### III-5 新規加入者の承認（中村、資料3）

新規入会者リストの確認の後、承認された。

#### III-6 2017年9月、2018年3月の年会開催地の承認（中村、配布資料）

2017年9月および2018年3月の開催地を決定した。秋の年会の会員全員集会で公表することとした。

#### III-7 国際光年参画の承認（中村、配布資料）

国際光年協議会より参画依頼が来た。協議会会員、推進パートナーへの登録を求められている。協議会会員となり、シルバークラス（15～20万円の寄付）の推進パートナーとして登録することが提案された。山岡理事より国際光年協議会の現状の説明がなされたのち、承認された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 前回理事会（2015/3/18）議事録

資料 3 新規入退会・移籍者などの報告

資料 4 2014 年度監査報告

資料 5 実務理事引継ぎ資料

資料 6 2014 年度事業報告書（案）

資料 7 2014 年度決算報告書（案）

資料 8 オンライン学術用語集(Sciterm)の移行に関する説明会資料

資料 9 第 3 期中期目標期間における名古屋大学の新研究所（仮称、宇宙地球環境研究所）  
の共同利用・共同研究拠点認定に対するサポートレターをお願い

配布資料 国際光年協議会参画のお願いご送付

配布資料 2017 年 9 月、2018 年 3 月の年会開催地

2015 年 5 月 10 日

会 長：櫻井 隆 印

副会長：奥村 幸子 印

副会長：山田 亨 印

監 事：尾中 敬 印

監 事：郷田 直輝 印